



2025年6月12日

各位

会社名 株式会社アールプランナー
代表者名 代表取締役社長 梢 政 樹
(コード番号:2983 東証グロース・名証メイン)
問合せ先 取締役 C F O 舟 橋 和
(TEL. 052-957-5860)

2026年1月期第2四半期(中間期)連結業績予想 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025年3月14日に公表いたしました2026年1月期第2四半期(中間期)連結業績予想及び通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 2026年1月期第2四半期(中間期)業績予想の修正(2025年2月1日~2025年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,000	1,040	950	640	120.39
今回修正予想(B)	21,800	1,400	1,300	880	165.49
増減額(B-A)	800	360	350	240	
増減率(%)	3.8	34.6	36.8	37.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年1月期第2四半期)	20,267	1,125	1,047	686	129.16

2. 2026年1月期通期連結業績予想の修正(2025年2月1日~2026年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,500	2,400	2,220	1,480	278.41
今回修正予想(B)	45,300	2,880	2,680	1,800	338.28
増減額(B-A)	800	480	460	320	
増減率(%)	1.8	20.0	20.7	21.6	
(ご参考)前期連結実績 (2025年1月期)	40,185	2,163	2,002	1,436	270.13



2. 業績修正の理由

住宅業界におきましては、全国の新設住宅着工戸数が2025年1月から3月の累計で前期比113.1%とプラスに転じたものの、2025年4月施行の改正建築基準法の影響による駆け込み需要が推察され、物価や建築コストの上昇、金利変動による影響なども引き続き注視していく必要があります。

当社グループでは独自のデジタルマーケティングを展開して効率的な集客を行い、「デザイン」「性能」「価格」の3つの強みを重ね合わせたコストパフォーマンスの高い住宅の商品力をいかして戸建住宅需要を積極的に取り込んだことで2025年1月期から引続き受注高・総受注棟数が好調に推移しております。

売上高におきましては、上記受注の好調を受け、2026年1月期第1四半期会計期間の注文住宅販売棟数が増加したことに加え、顧客ニーズを捉えた土地の仕入れを行ったこと、機能性の向上など商品の付加価値を高めて販売単価が上昇したこと、また独自のデジタルマーケティングが奏功して効率的な集客ができたことなどから好調に推移し、前回発表予想を上回る見込みです。

利益面におきましても、販売単価の上昇やコストコントロールにより売上総利益が改善しており、各段階利益についても前回発表予想を上回る見込みです。

以上の結果を踏まえ、2026年1月期第2四半期及び通期の連結業績予想を修正いたしました。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上